

生態工学 2018 年度第 3 回理事会議事録

日 時：2019 年 2 月 22 日（金）13：30～15：20

場 所：東京文化会館

【総務委員会】

2018 年度総務委員会活動報告

(1) 会員数・賛助会員数に関して報告があった。

(2) 報告事項

- ・日本農業工学会

2019 年日本農業工学会賞 木部勢至朗理事の受賞が決定した。

2019 年日本農業工学会フェローに大西充、多胡靖宏会員を推薦した。

- ・日本農学会

日本農学会 2019 年度総会（2019 年 2 月 9 日）にて生態工学会の入会申請が承認された。

(3) 審議事項

- ・ホームページに関して

サーバー移行と SLL 設定構築を行うこととなった。

- ・日本農学会・運営委員の選出に関して

土肥哲哉理事を日本農学会・運営委員として選出することとなった。

- ・「第 35 回国際生物学賞受賞候補者」推薦依頼に関して推薦者を募ることとなった。

- ・郵便振替受取通知票の通知の有料化について

2020 年 4 月より払替受払通知表を郵送する場合 1 通につき 108 円の料金がかかるため、無料の電子化サービスの手続きを行うこととなった。

【編集委員会】

2018年度編集委員会活動報告

(1) 生態工学会誌の発刊について

下記報告がなされた。

生態工学会誌「生態工学」30巻2号～31巻1号(2018年4月、7月、10月、2019年1月発刊)を発行した(内容:原著論文、短報1、特別寄稿1、ニュース・企画・報告2,お知らせ、投稿規程、総ページ数132)。なお、2018年1月8日時点での査読中の論文は、原著論文0報、短報0報、受理済み原著論文0報、受理済み短報1報である。

また、30巻4号までをJ-STAGE上の電子ジャーナルとして公開した。

2018年度「生態工学」掲載論文一覧

種類	第30巻			第31巻
	2	3	4	1
特別寄稿			4	1
特集論文				
原著論文	3	2		
短報		1	1	1
総合論文				
解説・資料				
受賞記念寄稿				2
ニュース・企画・報告			1	

(2) 学会賞の推薦について

下記報告がなされた。

奨励賞は該当者なしと報告した。論文賞は板倉健太氏の「移動型スキャニングライダーによる樹高測定に必要な移動距離の算出および地上および高所からの3次元画像の位置合わせによる樹高測定」(Vol. 30, No. 1掲載)を推薦した。

【企画委員会】

2018年度企画委員会活動報告

下記の報告がなされた。

(1) 日本地球惑星科学連合2018年大会（合同開催）

日 時：2018年5月20日（日）～5月24日（木）

会 場：幕張メッセ、東京ベイ幕張ホール（千葉市）

主 催：日本地球惑星科学連合

特記事項：20日（日）にセッション「圏外環境における閉鎖生態系と生物システム」において、6件の口頭発表と4件のポスター発表を実施。

(2) 2018年度生態工学会年次大会（主催）

日 時：2018年6月22日（金）、23日（土）[エクスカッション 6月21日（木）]

会 場：大阪府立大学中百舌鳥キャンパス学術交流会館（大阪府堺市）

参加数：118名

特記事項：○エクスカッション（ダイキン工業 TIC） 13名参加

○一般セッション口頭発表 11件、ポスターセッション19件

○オーガナイズドセッション（3企画）

「月面農場ワーキンググループ活動報告」 4件

「低炭素社会に向けた微細藻類の新たな技術革新」 3件

「次世代科学社会活性化委員会企画セッションとして
～アカデミアを活かして生きる」 3件

○ポスターオーガナイズドセッション

（大阪府立大学植物工場研究センターコンソーシアム共催）

「大阪府立大学植物工場研究センターコンソーシアム共同研究成果
報告会」 17件

○記念講演会「生態工学会の歩みと未来に向けて」

講演 1:CELSS 学会の活動について、および閉鎖型生態系実験施設を用
いた物質循環閉鎖居住実験 生態工学会理事 多胡靖宏

講演 2:CELSS 学会から生態工学会へ 第6代会長 大政謙次

講演 3:生態工学会の未来に向けて 第8代会長 木部勢至朗

総合討論 若手の会・若手研究者有志との意見交換

○大阪府立大学植物工場研究センター見学

(3) 平成30年度 科研費新領域「宇宙に生きる」若手夏合宿

日 時：2018年7月26日（木）～27日（金）

会 場：伊香保温泉 森秋旅館

参加数：70名

特記事項：科研費新領域「宇宙に生きる」は、無事に中間評価を終え第2段階に入った。今回の合宿は宇宙惑星居住科学連合若手の会との合同開催で「生態工学会の紹介」を行った。若手の方々とどのように宇宙実験を発展させていくべきかざっくばらんに話し議論した。

(4) 第62回宇宙科学技術連合講演会（共催）

日 時：2018年10月24日（水）～10月26日（金）

会 場：久留米シティプラザ（福岡県久留米市）

主 催：日本航空宇宙学会

特記事項：25日（木）にオーガナイズドセッション「宇宙で生きる!～地球軌道を超えてみよう～」を企画し、12件の講演を実施した。

(5) 日本マイクログラビティ応用学会第30回学術講演会（協賛）

日 時：2018年10月29日（月）～10月31日（水）

会 場：じゅうろくプラザ（岐阜県岐阜市橋本町1丁目10番地11）

主 催：日本マイクログラビティ応用学会

特記事項：10月31日（水）にオーガナイズドセッション「宇宙惑星居住科学」において、題名「環境制御生命維持技術(ECLSS)と生態工学会の紹介」で講演を実施した。

(6) 第1回 生態工学サイエンスカフェ（主催）

日 時：2019年3月21日（木） 16：00～18：00

会 場：Liberal Arts Café DARWIN ROOM 2階ラボスペース
（東京都世田谷区代沢5-31-8）

(7) 定例研究会

第1回

テーマ：農業・食品産業で利用される膜分離技術

日 時：2018年5月21日（火）

会 場：東京文化会館

講 師：萩原 昌司 氏（農研機構食品研究部門）

第2回

テーマ：AIの基礎から第一次産業での活用まで

日 時：2018年10月19日（火）

会 場：東京文化会館

講 師：中村 俊輔 氏（エッジコンサルティング株式会社 AI事業開発部）

第3回

テーマ：国際宇宙ステーション「きぼう」の概要と利用について

日 時：2019年2月22日（金）

会 場：東京文化会館

講 師：高柳 昌弘 氏（JAXA 有人宇宙技術部門 きぼう利用センター）

2019 年度企画委員会活動予定（確定分）

下記の報告がなされた。

- (1) 日本地球惑星科学連合2019年大会（合同開催）
日 時：2019年5月26日（日）～5月30日（木）
会 場：幕張メッセ、東京ベイ幕張ホール（千葉市）
主 催：日本地球惑星科学連合
特記事項：5月26日にセッション「圏外環境における閉鎖生態系と生物システム」において、口頭発表とポスター発表を予定。
- (2) 2019年度生態工学会年次大会（主催）
日 時：2019年6月28日（金），29日（土）
会 場：宇都宮大学峰キャンパス大学会館（栃木県宇都宮市）

【表彰委員会】

2018 年度表彰委員会活動報告

下記の報告がなされた。

・2019年度生態工学会学会賞受賞候補者の選考結果について

- (1) 受賞候補者の募集
募集期間：2018 年 4 月 1 日～11 月 30 日（学会誌，学会ホームページ）
募集結果：推薦 2 名（学術賞 1名，論文賞 1 名）
- (2) 表彰委員による選考
選考期間：2019 年 2 月 15 日～2 月 21 日
選考結果：下記のように決定した。

学術賞： 渡邊博之氏
 「LEDを光源とした植物工場の開発」
論文賞： 板倉健太氏
 「移動型スキャングライダーによる樹高測定に必要な移動距離の算出
 および高所からの3次元画像の位置合わせによる樹高測定」

【広報委員会】

2018年度広報委員会活動報告

下記の報告がなされた。

(1) SEE Quick（メール配信）の運営

SEE Quick 配信依頼に対する取り扱い方法の運用を通して、会員および関連学会からの情報の速やかな配信業務が成し遂げられ、2018年4月1日から2019年2月12日までに128回（通算1513回）情報提供を行った。

（注：通算番号は400番の番号飛びがある）

(2) HPの内容の更新

HP内の活動状況（総会、理事会、年次大会、学会賞、定例研究会）の更新作業を行った。

【次世代科学社会活性化委員会】

2018年度次世代科学社会活性化委員会活動報告

下記の報告がなされた。

(1) 第16回男女共同参画学協会連絡会シンポジウムの参加

2018年10月13日、建築会館で開催された第16回男女共同参画学協会連絡会シンポジウムに、例年どおり参加しポスター発表を行った。

(2) 第17期男女共同参画学協会連絡会分担金の支払い

第17期男女共同参画学協会連絡会分担金（1万円）の支払いの手続きを行う。

(3) 次世代科学社会応援シンポジウム2019の開催

2019年3月21日に下北沢ダーウィンルームで開催される次世代科学社会応援シンポジウム2019（十文字女子大学・木村靖子先生）を協賛する予定である。本シンポジウムは、“生物のライフサイクル”を基本テーマとして、研究者らのこれまでの研究生活も併せて討論形式での開催が予定されている。

次世代科学社会応援シンポジウム2019(協賛)

日 時：2019年3月21日（木）

会 場：Liberal Arts Café DARWIN ROOM 2階ラボスペース
（東京都世田谷区代沢5-31-8）

趣 旨：『科学の発展は人々の健康と平和に大きく貢献できる。科学社会を担う研究者らはどのように自身の研究と社会に関わりここに居るのだろうか。世代を超えて、語り合い知り合おう』を趣旨に、昨年から年1度開催されている“次世代科学社会応援公開シンポジウム2019”が、Liberal Arts CafeDARWIN ROOM2階のラボスペースで開催する。今回は、生物のライフサイクルをキーワードに、講演者らと参加者らとの討論を中心に行う。

(4) 男女共同参画学協会連絡会の運営委員活動

引き続き、男女共同参画学協会連絡会の運営委員として活動する。生態工学会は男女共同参画学協会連絡会内で、日本宇宙生物学会と共に、WG 活動を行っている。引き続き活動する予定である。

(5) 地球惑星科学連合大会 2019 の参加

地球惑星科学連合大会 2019 で、本委員会による若手の会の参加を検討している。

(6) 次世代科学社会応援シンポジウム 2020

次世代科学社会応援シンポジウム 2020 を協賛する予定。本学会、三重大学の加藤浩理事を中心に進められる予定である。

【各支部活動】

2018年度各支部活動報告

下記の報告がなされた。

【関東支部】

・今期の活動

具体的な活動には至らなかった。

・今後の活動

関東支部報告；関係者と連絡を取り、活性化を行う予定である。

【関西支部】

関西支部では、支部会活動の活性化および学会会員増強のため2014年度より日本農業気象学会近畿支部との共催によるシンポジウムを行ってきた。2018年度は生態工学会関西支部と中国四国支部との合同で、日本農業気象学会近畿支部と中国・四国支部の合同支部大会(平成30年12月6日(木)13:00～7日(金)15:00)の一環としてシンポジウムを開催した。

(1) テーマ：地域資源を活用した持続的農業に向けて

(2) 日時：平成30年12月6日(木) 15:00～17:00

(3) 場所：四国大学交流プラザ(4階・第2セミナー室)

〒770-0831 徳島市寺島本町西2丁目35-8

<https://www.shikoku-u.ac.jp/institution/attached-plaza/>

(4) 内容：

1. 「仮題：世界農業遺産・にし阿波の傾斜地農耕システムと地域の活性化」

徳島県立農林水産総合技術支援センター 高木一文氏

2. 「生物多様性を活用した持続的農業の可能性」

農研機構西日本農業研究センター 楠本良延氏

3. 「環境との調和を目指した生態工学的農業－微生物機能を活用した資源循環技術による植物生産システム－」

大阪府立大学大学院生命環境科学研究科 遠藤良輔氏

4. 総合討論



遠藤会員の講演の様子

【企画委員会 定例シンポジウムの見直しについて】

下記の報告がなされた。

生態工学・定例シンポジウムは、これまで10回にわたり生態工学に関連する幅広いテーマについて、主に会員に対して多くの有意義な情報提供を行ってきた。しかしながら、類似のシンポジウムの増加や広報不足等により参加者数の減少が続いたことから、企画委員会として開催目的の明確化と新たな開催スタイルを検討することとした。今般、篠原副委員長を中心として、「学会員への情報提供の深化」と「新たな参加者層（若年層、学会外の関連する知識層）の獲得」を開催目的として、「サイエンスカフェを利用したサロンのスタイル」を企画したので、ご協力をお願いしたい。

記

(1) 名称：生態工学会定例シンポジウム～生態工学サロン～（仮称）

(2) 期日：3月21日（木）16：00～18：00

(3) 会場：Liberal Arts Café DARWIN ROOM 2階ラボスペース
（東京都世田谷区代沢5-31-8）

アクセス：小田急線・京王井の頭線下北沢駅南西口改札から徒歩4分

(4) 開催テーマ「宇宙での食と栄養」

(5) 趣旨：近年、民間の宇宙旅行だけでなく、火星・月軌道などの長期有人宇宙居住が現実味をおびてきた。宇宙での長期滞在では、一般的には植物食を中心に検討されているが、栄養面での偏りが生じることが常に課題とされる。その対策として、昆虫食やサプリメントの他、培養された動物肉や、ユーグレナなども有力な検討対象であるといえる。国内でこれらの先端的な研究を進めている研究者に話題を提供して頂き、幅広く長期有人宇宙居住の可能性を考える機会としたい。

(6) プログラム：

（15：00～ 次世代科学社会シンポジウム2019の参加者と交流 兼 入れ替え）

16：00～ 挨拶・趣旨紹介（寺添・篠原）

16：10～ 講演1：筑波大学・吉田滋樹先生（食品衛生）

17：00～ 講演2：未定

（インテグリアルチャー社・羽生雄毅氏、or ユーグレナ社・研究者1名）

17：40～ 総合討論

18：00 閉会

18：30 懇親会（別途宴会場と確保、参加費も別途徴収）

1. 参加費：2,000円（飲み物代含む）、ただし高校生以下は1,500円（飲み物代含む）
2. 広報：一般の方の参加の促し：サイエンスカフェであるダーウィンルームに共催的な形での告知をお願いする。その他本学会HPなど
3. 参加者数見込み：本学会会員25名、一般15名 計40名
4. その他：初回であることから、双方の集客を期待して、次世代科学社会応援シンポジウム2019（主催：次世代科学社会応援公開シンポジウム委員会）との合同開催とする。

会場（DARWIN ROOM）の紹介：

教養の再生を謳い、博物学から哲学、科学、芸能まで幅広いテーマのイベントを3年で365回、3日に一度の頻度で精力的に開催しています。1階が博物グッズや古書などの物販とカフェ、2階がラボと称したイベントスペース（50人収容可能）となっています。（<http://www.darwinroom.com/>）



【年次大会実行委員会 2019 生態工学会年次大会(宇都宮大会) 準備状況】

下記の報告がなされた。

(1) 大会組織 (敬称略)

大会委員長：齋藤 高弘

実行委員長：田村 匡嗣

大会実行委員：寺添 斉 (事務局)、遠藤雅人、増田篤稔、田村治美、土肥哲哉、
細井文樹、中根昌克

(2) 開催日時・行事予定

6月28日(金)	6月29日(土)
AM 一般口頭発表セッション	AM 一般口頭発表セッション
PM 総会	ショートプレゼンテーション
表彰式・受賞者講演 (1件)	PM ポスターセッション
特別講演会	表彰式・閉会式
懇親会	

(3) 会 場

宇都宮大学峰キャンパス (〒321-8505 栃木県宇都宮市峰町 350)

JR 宇都宮駅東口より 2.0 km、徒歩 26 分、路線バス (3 社、約 15 分、220 円/片道)

タクシー (東口 乗車時間：約 5 分)

メイン会場：大学会館 2F 多目的ホール、懇親会会場：峰ヶ丘講堂



昼食：6/28 (金) 大学会館 1F に食堂、売店、また正門から 200m 程度にコンビニあり

6/29 (土) 食堂休みのため、弁当の予定 (参加申し込みフォームで選択)

(4) 特別講演会

宇都宮大学から 2 名の先生にお願いしてご講演頂く予定

(5) ポスターセッション

ショートプレゼンテーションを実施 (2 分/件程度)

(6) 主要な締め切り一覧

内 容	期 日
オーガナイズドセッション企画案提出	2019年4月8日(月)
一般発表セッション申込み	2019年4月22日(金)
発表論文提出	2019年5月27日(月)
事前参加費振込み	2019年6月21日(金)

(7) ホームページ、参加フォーム、発表申し込みフォーム；開設済み